

第 3 回部会における意見の分類

発言者	発言内容	施設や地区 の現状説明	資料や調査 結果の精査 分析が必要	施設の利用 状況からの 検討が必要	求められる 機能からの 検討が必要	場所の位置 付けからの 検討が必要	費用対効果 からの検討 が必要
委員 Q	・ H21 にトマト食品館の利用者調査をしたが、50代以上が 6 割を超えていた ・ 継続調査はしていないが、高齢者が多いという実感はある	○					
委員 P	・ テナントとして、利用休止期間や工事中に避けられない騒音があるという条件は非常に厳しい	○					
委員 F	・ 長野市は後ろに断層が走っていて、まちを構成していく時も千曲川の方に流れて行ってしまふ ・ 大きな土地を確保するのは非常に大変で、先ず地権者の理解をもらわなければならない	○					
委員 G	・ 第四地区は市内 32 地区で最も人口が少ない ・ 公共施設を減らすという話があるが、20%減らすと地区から無くなってしまう	○					
委員 I	・ 新田町で生まれ育ち、子供の頃はまちが賑わっていたが、ダイエーが無くなってから寂れていっている	○					
委員 L	・ 善光寺や長野駅と調和の取れた、ぜひ寄ってみよう、楽しんでみようと思えるような施設を希望しているが、現状で観光客もバスで乗り降りして直ぐに帰ってしまい、歩行者がとても少ない	○					
委員 D	・ アンケート結果から利用頻度と交通手段と利用用途についてクロス集計すると、別々の表で見た時とはかなり違う印象になると予測されるので、その辺も含めて検討していく必要がある		○				

発言者	発言内容	施設や地区の現状説明	資料や調査結果の精査分析が必要	施設の利用状況からの検討が必要	求められる機能からの検討が必要	場所の位置付けからの検討が必要	費用対効果からの検討が必要
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートが若者に関心が高かったというのがポイントで、今耐震補強したところで20年後に何かしら手当しなければいけないので、その時代に生きる若者の意見は重要 ・市民37万人のうち利用したことがある人が67%なので概算で170万人くらいは利用している計算になるが、実際は60万人程度だったので、アンケートは目安として、真にどれだけの人がそう思っているのかというところを、丁寧に分析していく必要がある 		○				
委員 N	<ul style="list-style-type: none"> ・市の方でもんぜんぶら座の位置付けをもう一度整理してほしい 		○				
委員 O	<ul style="list-style-type: none"> ・これだけ多くの意見や提案の最大公約数を得るのは難しい 		○				
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・返送されたアンケートのうち第四地区は5件だけで、第一から第五地区の合計でも53件でしかないので、頻繁に利用している人の実態とアンケートの結果とは少し異なると思って見てもらい、テナントヒアリングと利用者調査の結果も含めて考えてもらえればと思う 		○				
委員 S	<ul style="list-style-type: none"> ・テナントとしては一番営業に支障が出ない方法がありがたい 			○			
委員 N	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の形について様々な意見があり、思いの外使われている施設であると考えられるので、そういうところを評価して将来の方向を見ていった方がいい 			○			
委員 P	<ul style="list-style-type: none"> ・T O i G Oから店舗が撤退しているという現状があるので、事前にそういう状況を加味しつつ、魅力的な施設にすべき 			○			
委員 I	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐにでも今の建物を潰して新しいものを建てて、まちを活性化する起爆剤にしてほしい 			○			
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の教育拠点になるようなものも検討してほしい 				○		

発言者	発言内容	施設や地区 の現状説明	資料や調査 結果の精査 分析が必要	施設の利用 状況からの 検討が必要	求められる 機能からの 検討が必要	場所の位置 付けからの 検討が必要	費用対効果 からの検討 が必要
委員 M	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中心市街地活性化プランに「まちなかで人を滞留させ、憩いと潤いを提供する空間が著しく不足している」とあり、アンケートでも都市緑地が必要との回答があったが、もんぜんぷら座を解体して公園にすれば、憩いと潤いの空間が増え、緊急避難場所としても使える ・ 一方で雨の日の子供の遊び場が無いという意見もあるので、緑地の中に二階建て程度の建物を建てて遊び場を確保したり、今もんぜんぷら座で営業しているテナントが入ったり、多機能型の公共施設ができればいい 				○		
委員 N	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の方から機能としてどこが足りないのか、どこを削るのかと仕向けていけないといけないし、その結果として耐震化のやり方にも優劣がついてくる 				○		
委員 O	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的にコンパクトシティがいいと考えていて、中心市街地に商業の力だけで賑わいを取り戻すのは難しい中では、医療・福祉・公共交通等の生活機能を充実させて、便利で住みやすいまちができないかと考えている 				○		
委員 P	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長野駅から善光寺までの沿道にあるので、観光客も立ち寄りできるような施設がいい 				○		
委員 G	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場が欲しいという意見が多数あるが、80年後にはもっと違う公共交通があると思う。それが予想できない時点では、先に施設の位置付けだけを決めて、活用方法はその都度考えるということも必要で、広角的に使えるものにしていかなければならない 				○		

発言者	発言内容	施設や地区の現状説明	資料や調査結果の精査分析が必要	施設の利用状況からの検討が必要	求められる機能からの検討が必要	場所の位置付けからの検討が必要	費用対効果からの検討が必要
委員 J	<ul style="list-style-type: none"> ・商店が潤うには、遠くから買いに来てもらうことは当然、人に住んでもらって、地元で常にお買い物をしてもらえるようなまちにしていけないと活性化は難しい ・店ができたから人が来るのではなく、人が住んで店ができるというのが理想だと思うので、人が住みたくなるような何かをしてもらえればと思う 				○		
委員 K	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設として立地が良いと思っているが、商売だけではなくて、地元の人や観光客、更に郊外の人でも何かしら寄れる場所であるべきだとも思っている ・善光寺・長野駅・県庁・市役所との位置関係を考えた時に、公的届出や許可・手続き関係、診療所のような生活に親しんだ施設を取り混ぜながら、地元の人が利用できて観光客も立ち寄れるということが一番に考えるべきだと思っている 				○		
委員 R	<ul style="list-style-type: none"> ・駅ビルM I D O R I には人が多く、商品も沢山買っているが、長野の物は大抵揃っていて利便性も高いから買うのであって、ここも同じように長野県や長野市の名物を買うことができ、情報も得られる物産館的な役割にすればどうか ・加えて、国策でもある子育て支援、更には介護の部分も併せた施設ができればいい ・観光客のための情報基地を作るのもいい 				○		

発言者	発言内容	施設や地区の現状説明	資料や調査結果の精査分析が必要	施設の利用状況からの検討が必要	求められる機能からの検討が必要	場所の位置付けからの検討が必要	費用対効果からの検討が必要
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> ・もんぜんぷら座は、ダイエーが撤退した跡地の良い場所を是非とも市で使いたいということで取得したという経緯がある ・せっかくこれからを考えるのであれば、とりあえずの用途を決めてある程度は利用するけれど、10年20年先には必要なくなるだろうと想定される施設があれば、そういうものをフレキシブルに変えていけるような建物になっていけばいいと思う ・どうしたいかという思いよりも、これからの世の中はどうなっていくのかということに対応した考え方や施設を作ってもらえればと思っている 				○		
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・もんぜんぷら座をいかにリノベーションするかという点で、やはりワンストップ型の集合施設にするのが一番いい ・従来どおり低層階は生鮮食品売り場等の商業施設とするが、容積率が500%~600%という高い建物が建てられる場所であるだけに、集合住宅を上にも兼ね備えるといった形などを考えている 				○		
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> ・居住者だけ増やしても横の関係性をどう結び付けていくか ・この場所は公共交通の利便性が非常に高く、買物や物流の拠点としてもふさわしい 					○	
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の新田町について、中央通りの整備やセントラルスクウェアをどうするかという話がある中で、都市緑地として整備してほしいという回答も多いので、周りの環境等も含めてしっかり考えていかなければならない 					○	

発言者	発言内容	施設や地区の現状説明	資料や調査結果の精査分析が必要	施設の利用状況からの検討が必要	求められる機能からの検討が必要	場所の位置付けからの検討が必要	費用対効果からの検討が必要
委員 M	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートに新田町交差点を長野駅前・セントラルスクウェア・権堂・県立大学・善光寺の結節点とすべく長期的視点に立った整備をしてもらいたいという答えがあり、私も同様に考える ・市では今後20年間で公共施設を20%削減するという数値目標を出しているので、どの程度機能を縮小していくのかというのも大きなテーマになる 					○	
委員 N	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の役割をどうしていくのかというのが前提にあるべきで、市の考える位置付けから、もんぜんぷら座はもう要らないとなる可能性もある 					○	
委員 F	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば善光寺を外したところでどういう地域だったらいいかという考え方もあり、そこに加えて善光寺も使わせてもらうという発想もいいのではないか ・大きなモールのようなものが無くても繁栄できるような地域を作るには、自然の地形を活かすことも必要 ・10年後はどうしたいというところから入っていかなければ都市計画はできないのではないか ・先ず人をまちなかに引っ張り出してから、次にも来たくなるようにすることが大事で、広い目線で長野市や中心市街地をどうしたらいいかということを考えていく必要がある 					○	

発言者	発言内容	施設や地区の現状説明	資料や調査結果の精査分析が必要	施設の利用状況からの検討が必要	求められる機能からの検討が必要	場所の位置付けからの検討が必要	費用対効果からの検討が必要
委員 H	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を見ると、建物を維持していく意見よりも、特に若い世代に子供の遊び場や公園という意見が多数ある ・年寄りにしてみると現状のまま通えるようにという話になってしまうが、年寄りの意見ばかり聴くと、何十年か後にはもんぜんぷら座が価値の無いものになる ・もんぜんぷら座をどのような在り方で進めていけばいいかというより、長野駅前から善光寺までをどのようにしたらいいかという話し合いの方が、議論が出るのではないか 					○	
委員 I	<ul style="list-style-type: none"> ・早く良いものに建て替えることで皆が集まってきて、その中に新田町に住みたいという人にも来てもらいたい ・人が住めるまち、住んでくれるまちづくりをしてもらいたい 					○	
委員 K	<ul style="list-style-type: none"> ・ T O i G O との関連性も含めて、新田町交差点を今後どうしていくかということ幅広く考えていけたらいい 					○	
委員 L	<ul style="list-style-type: none"> ・ T O i G O も閑散としている中でもんぜんぷら座だけを良くするのは難しいと思うが、周りとの調和の取れた計画を立てていかなければいけない 					○	
委員 Q	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沢山の要望をこの施設一つで叶えようとするのではなく、まちなかの複数個所で叶えば結果的にそれでいいのではと思う ・ 期限こそあるが、急いで結論を出すのではなく、負の遺産になることがないよう、色々と考えてみてもいいのではないか 					○	

発言者	発言内容	施設や地区の現状説明	資料や調査結果の精査分析が必要	施設の利用状況からの検討が必要	求められる機能からの検討が必要	場所の位置付けからの検討が必要	費用対効果からの検討が必要
委員 R	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住がこの地区で完結するようなシステムを作り、そのヘッドクォーター、あるいは核となるような施設がもんぜんぶら座であると整理してから再構築すべきではないか ・まちづくりというのは、新たに何か作っていこうという話ではなく、そこに住む人たちとのコミュニケーションをどうしていくかという事に尽きるので、この場所がまちづくりのコミュニケーション・情報発信の基地になればいいと思っている 					○	
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> ・この区域が市にとってどうあるべきか、都市機能として必要不可欠な区域にあるもんぜんぶら座はどうあるべきかを議論してから各論に入っていく方が分かりやすい ・歩いて暮らせるまちとは、直ぐ近くに官公庁があり、医療・福祉・学校・共同住宅、暮らしていくための商業施設を一定の地域に収納したワンストップ型のまちだとして考えると、新田町という場所は軸線上極めて有効な場所にある ・もっと深くこの場所の意味はどうあるべきだということを考えていながら、一つの方向性を出していかなければならない ・方向性を出した上で、この建物をどうしていかなければいけないという議論を、市からより詳細な資料を出してもらって決めていくということが大事 					○	
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強しても耐用年数は20年、更に設備的な寿命もあり、耐震補強をした場合でも、概算工事費の中に設備の更新費が本当に収まるのか総合的に考えていきたい 						○
委員 O	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震化手法について解体再整備すると78億という数字が出ているし、ランニングコストも出ているが、市民のニーズがこれだけ多様化している中で、この数字は支持されるのか疑問 						○

発言者	発言内容	施設や地区の現状説明	資料や調査結果の精査分析が必要	施設の利用状況からの検討が必要	求められる機能からの検討が必要	場所の位置付けからの検討が必要	費用対効果からの検討が必要
委員 G	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の世代には絶対に負の遺産を残してはいけない ・ 耐震補強もあるとは思いますが、20年後には確実に壊さなければならぬということでは忘れてはいけない ・ 20年先、あるいは50年先に負の遺産を残さないような議論を是非していきたい 						○
委員 R	<ul style="list-style-type: none"> ・ 耐震補強をするにせよ建て替えるにせよ、年8千万円から1億2千万円のコストが最低でもかかるという数字を目の当たりにすると、是非は別として、まずは長野市の人的資本、金銭的資本を県外に全部持って行かれるのではなく、長野の人たちの力で利益を担保していくような組織を作っていくべき 						○
委員 S	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しいものを造ればそれ相応に色々なものができるとは思いますが、新しく建てるとすると約70億円以上、100億円かかるかもしれない。100億円かけて新しくするとなった場合でも、市で予算付けがあるか無いかという話も出てくる ・ 私は1階で商店をやっている、もんぜんぶら座を壊して新しく建てるとしたら、工事中は仮店舗などで運営することになるかもしれないので、その後で戻ってこられるかこられないかは重要な問題になってくる ・ そういうことも踏まえて、なるべくお金がかからない方法で集客できるような仕組みを考えていくのも一つの手ではないかと思うし、耐震補強も一つの手だと思う 						○